

平成 2 9 年度

第 3 回加賀市地域公共交通会議

第 3 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

議事録

日 時 平成 30 年 2 月 21 日（水）
午前 10 時～午前 11 時 30 分
場 所 加賀市市民会館 第 2 会議室

平成 29 年度
第 3 回加賀市地域公共交通会議
第 3 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日 時 平成 30 年 2 月 21 日（水）
午前 10 時～午前 11 時 30 分
場 所 加賀市市民会館 第 2 会議室

1 開会

事務局

それでは、平成 29 年度第 3 回加賀市地域公共交通会議、第 3 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会を開催いたします。

2 会議成立報告

事務局

それでは、会議の成立報告を申し上げます。

本日の会議の出欠状況については、5 名の委員が欠席ですが、過半数に達する出席となっておりますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項及び加賀市地域公共交通活性化・再生協議会規約第 7 条第 3 項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告します。

それでは、この後の進行については、近藤会長にお願いしたいと思います。

3 報告

【KAGA あんしんネットの利用状況について】

会長

それでは、まず、報告の「KAGA あんしんネットの利用状況について」です。

事務局から説明してください。

事務局

資料 1 ページをご覧ください。

まず、加賀温泉バスが運行している生活路線バスの利用状況についてです。平成 26 年度から今年度 12 月までの利用状況を記載しています。各年度の 1 ヶ月平均を中心に説明したいと思います。平成 26 年度は 1 ヶ月平均 33,387 人の利用がありました。平成 27 年 3 月 14 日の北陸新幹線金沢開業と同日に温泉大聖寺線の運行を開始しました。平成 27 年度は、新幹線の開業効果もあり 1 ヶ月平均 36,079 人の利用があり、前年度比 108.1%でした。平成 28 年度は、新幹線効果が落ち着きました。また、加賀市医療センターが開院し、山代大聖寺線以外の 4 路線が医療センターへの乗り入れを開始しました。温泉片山津線、吉崎線、温泉大聖寺線は前年度比で増加、温泉山中線と山代大聖寺線は減少しました。全体では、前年度比 2.5%の減少でした。平成 29 年度は 1 ヶ月平均 33,563 人の利用があり、前年度同月比で 2.4%の減少となっています。

次に、キャンパス動橋・橋立循環線についてです。平成 27 年度から運行しています。平成 28 年度は、朝と昼に片山津・金明方面から大聖寺へ行く便、夕方に大聖寺から片山津・金明方面へ

帰る便の3便を運行し、1ヶ月平均240人の利用がありました。平成29年度は、通学に特化した運行とするため、昼便を廃止し、朝、大聖寺へ行く便と夕方と夜に大聖寺から帰る便の3便としました。1ヶ月平均515人の利用があり、前年度同月比225.2%となっています。特に朝便の利用が伸びており、通学手段として一定の機能を果たしていると思います。また、今年度より大聖寺実業高校前に停留所を設けたことも、利用増加の要因かと思えます。

次に、乗合タクシーについてです。平成27年10月に運行を開始しました。平成27年度は医療センター開院前だったこともあり1ヶ月平均295人の利用でした。医療センター開院後の平成28年度は、1ヶ月平均872人の利用で昨年度比295.6%でした。平成29年度は、1ヶ月平均1,128人の利用で前年度同月比130.5%となっています。利用が少なかったエリア②は、前年度同月比345.6%と徐々に利用が伸びています。しかし、エリア①と③と比較すると半分程度ですので、今後も利用促進をしていきたいと思えます。

会長

KAGAあんしんネットの利用状況についてでした。加賀温泉バスは北陸新幹線の金沢開業と医療センターの開院に対応しましたが、路線毎に増減があります。キャンバスは通学に特化し2倍以上利用が増え、乗合タクシーも利用が増えています。

それでは、ご質問やご意見がありましたらお願いします。温泉山中線の減少の要因は何ですか？

事務局

山中エリアの人口・高校生の減少が大きな要因です。また、乗合タクシーがきめ細かく運行しているので、東谷地区を中心に乗合タクシーに移行した方が多いです。山中温泉まで出て路線バスに乗る方がほとんどいなくなりました。しかし、温泉山中線が通っている西谷地区では、乗合タクシーの利用がほとんどないので、温泉山中線も一定の機能を果たしていると思えます。

委員代理

温泉山中線は、医療センター開業時は利用が多くありましたが、少しずつ減少しています。また、松ヶ丘を経由する温泉大聖寺線も医療センターに乗り入れており、通院手段として利用されています。

4 議事

【議事(1) 加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について】

会長

それでは、議事に入りたいと思えます。1番目の議事は、「加賀温泉バスの運行内容の見直し(案)について」です。

事務局から説明してください。

事務局

資料は3ページです。

まず、温泉片山津線の「湯の谷橋」停留所の新設についてです。温泉片山津線は、資料にある通り、片山津地内を一方通行で周遊しています。資料右側の路線で上り、左側の路線で下り、「湖

上団地口」停留所で合流します。地元から、左側の路線の「潮津」停留所と「湖城団地」停留所の間にもう一つ停留所があると利用が増えるのではないかと意見をいただいていますので、湯の谷橋辺りに停留所を新設したいと思います。

次に、吉崎線の運行経路の一部変更についてです。吉崎線は元々、塩屋・吉崎と大聖寺駅を結ぶ路線でしたが、医療センター開院に伴い、加賀温泉駅まで延伸しました。今回、黒瀬町と保賀町から、医療センターへの通院のため、一部の便だけでもこの路線を通して欲しいとの意見をいただいています。加賀温泉バスと協議し、「河崎上神社前」停留所を経由する経路と、黒瀬町と保賀町を経由する経路に分けて実証的に運行したいと思います。4往復ありますので、2往復ずつに分けたいと思います。

会長

温泉片山津線の停留所の新設、吉崎線の運行経路の一部変更についてでした。
ご質問やご意見がありましたらお願いします。

委員

吉崎線についてですが、上河崎からイオンに行く場合、従来経路と新規経路では運賃は異なりますか？異なる場合は、高齢者が混乱するかと思います。

事務局

両経路とも同額です。例えば、塩屋から医療センターに行く場合、どちらの経路で行っても同額です。

委員

始点から終点だけでなく、途中で乗降しても同額ですか？

委員代理

同額です。

委員

新規経路ではどれくらい距離が増えますか？

委員代理

「上河崎」停留所から「イオン加賀の里前」停留所までですが、従来経路では約 1.2km、新規経路では 3km 弱です。

会長

「河崎上神社前」停留所付近の住民とは調整していますか？

事務局

加賀温泉バスが毎年 1 回、特定の日を定めて乗降調査を行っています。乗降調査の結果では、

過去3年、「河崎上神社前」停留所での乗降はなく、今後もあまり利用は見込めません。区長と協議し、半分の便を実証的に黒瀬町と保賀町を通すことになりました。

会長

事前にデータ分析と区長との協議をしたとのことでした。

それでは、「加賀温泉バスの運行内容の見直し（案）について」は、これで承認することよろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

【議事(2) キャンバスの運行内容の見直し（案）について】

会長

続いて、議事の2番目、「キャンバスの運行内容の見直し（案）について」です。

事務局から説明してください。

事務局

資料は5ページです。

はじめに、動橋・橋立循環線についてです。大聖寺にある高校への通学手段として運行しています。まず、定期券の販売価格の変更についてです。運賃は1回乗車300円です。1ヶ月定期券も販売しており、利用促進のため、販売開始時から1ヶ月3,000円で販売しています。一方で、1回乗車の運賃が同額の温泉大聖寺線 加賀温泉駅～大聖寺駅区間の1ヶ月定期券は11,010円です。路線が定着している現在も、他の路線バスとは大きな差があります。しかし、便数については他の路線バスより少なく、利便性では劣っています。これらのことを踏まえ、動橋・橋立循環線の定期券の価格は、他の路線バスの半額程度である1ヶ月6,000円を目途とし、来年度は4,000円、さらに毎年度1,000円ずつ調整をすることで平成32年度には6,000円にしたいと思います。

次に、日曜・祝日便の廃止についてです。高校生利用が多いため、学校が休みの日、特に日曜・祝日の利用は少ないです。市内全域で乗合タクシーを利用できるので、日曜・祝日便は廃止したいと思います。

次に、湖北地区への乗り入れについてです。現在、湖北地区の学生は、自転車や家族の送迎等で「中谷宇吉郎雪の科学館」停留所まで出て来て、そこから乗車しています。今後もこの路線を利用したいとの声を聞いているので、来年度中に経路や停留所の設置場所等について、まちづくり加賀や区長会と協議を始めたいと思います。

次に、山まわり線の地域停留所の一部廃止についてです。地域住民にも回数券で気軽に利用してもらうため、海まわり線上に6箇所、山まわり線上に2箇所、計8箇所の地域停留所を設置しています。海まわり線上の6箇所は、動橋・橋立循環線と経路が被っているため、高校生を中心に多く利用されています。一方で、山まわり線上の「山代温泉南口」と「箱宮」停留所は利用がほとんどないため、廃止したいと思います。「箱宮」停留所は、加賀ゆめのゆと停留所を共有しているため、「加賀ゆめのゆ」停留所は残りますが、地域停留所としての機能はなくなります。

次に、山まわり線の逆まわり線の運行についてです。加賀温泉駅を16時25分に出発し、山中座に17時23分に到着する、従来とは逆まわりの経路を新たに設けるといいます。

最後に、海まわり線と山まわり線の乗車券の割引区分の追加についてです。ブルーライナー加賀四湯号の利用者を対象に大人100円、小人50円の運賃割引を行うものです。

補足がありましたら、まちづくり加賀よりお願いします。

委員

動橋・橋立循環線の運行を市と共に3年程しています。料金に関する裁量権はありませんが、利用者の声は我々に入ってくる。まず、定期券の販売価格の変更についてですが、市から利用者に料金改定の趣旨を説明して欲しいと思います。3年前に高齢者の通院手段として運行を始めました。しかし、高校生にも利用してもらうため、今年度からダイヤを変更したところ利用が伸びました。定期券の価格が安いことも利用が伸びている要因です。県内の他自治体のコミュニティバスは1回乗車100円、定期券が3,000円～4,000円程です。動橋・橋立循環線は1回乗車300円、8回回数券2,000円ですが、定期券については、コミュニティバスに準じる料金設定であると感じています。

次に、日曜・祝日便の廃止についてです。高校生利用が中心のため、日曜・祝日便の利用は少ないです。事務局にも渡してありますが、こちらでとったアンケートによると日曜・祝日便は高齢者の買い物等に利用されているので、この方々の代替手段の確保をお願いしたいです。

次に、湖北地区への乗り入れについてです。利用者からも要望をいただいているので、協議を進めたいと思います。

次に、地域停留所の一部廃止についてです。地域停留所としての廃止はやむを得ないと思いますが、少数でも利用者はいますので、まちづくり加賀として、これらの停留所を維持したいと思います。

次に、逆まわり線の運行についてです。旅館関係者から、観光客が観光を終えた後、直接、温泉地に行けるようにできないかとの相談を受けていました。加賀温泉バスとの競合等の問題からなかなか実現できませんでしたが、今回、加賀温泉バスの理解を得られましたので、逆まわり線を運行したいと思います。施設の閉館時間に合わせたダイヤにしているので、施設を観終わった後、そのまま山代温泉や山中温泉へ行くことができます。今までは、加賀温泉駅での乗換えが必要でした。先日、東京でのトップセールスに同行した際には、大手旅行会社からキャンバスは便利だが、さらに利便性を向上させて欲しいとの意見をいただきました。

最後に、海まわり線と山まわり線の乗車券の割引区分の追加についてです。キャンバスの運行を委託している日本海観光バスが、ブルーライナー加賀四湯号を大阪～加賀温泉郷間で運行しています。これの利用者を対象にキャンバスの運賃を割引くことでキャンバスの利用に繋げ、観光客の加賀温泉郷での滞在時間を延ばしたいです。

委員

加賀温泉バスの定期券価格について、別途学割はありますか？

事務局

記載の価格は通学定期の価格です。

委員代理

通学定期の価格から更なる学割等はありません。

会長

キャンバス全体では観光客と地域住民の利用の比率はどれ位ですか？

委員

動橋・橋立循環線は高校生が、従来の観光路線は観光客が主です。全体では観光客が9割、地域住民が1割だと思います。ただ、観光路線には回数券もあり、橋立方面の方を中心に利用があります。観光路線は1日券が1,000円に対し、11回回数券が3,000円なので、観光利用があるからこそ地域住民への割引ができています。

会長

加賀市は温泉地ですので、キャンバスが観光客や旅館組合と連携することが、まちづくりにも繋がっていると思います。地域住民が路線バスや乗合タクシーと同様にキャンバスも利用していることが、加賀市の特色かと思います。

委員

市の財政事情もあるため、公共交通の維持には利用者負担が必要です。観光客には、しっかりと料金を払ってもらい、地域住民に関しては、市の施策との兼ね合いもありますが、バス事業者が営業の一環として運行しているバス路線もあるので、コミュニティバスが良いのか等は、交通会議等で協議して欲しいと思います。定期券価格の変更については、利用者は苦言を呈するかもしれませんが、変更しないと維持できないのであれば、利用者には理解いただき、地域が支えていく必要があると思います。

委員

今日の議事は、来年度から4,000円に変更したいというもので、目途の6,000円については、その都度、協議したいと思います。利用状況や意見等を参考にしながら考えていきたいと思えます。

会長

コミュニティバスの運行という考え方もありますが、加賀市は乗合タクシーと従来の路線バス、キャンバスとを組み合わせた交通体系になっています。できるだけ従来のものを組み合わせて活用しています。キャンバスの利用を地域住民にも広げるためには、来年度は、定期券代として1ヶ月4,000円を負担していただくことが現実的かと思います。

委員

利用者へは市から説明していただけますか？

事務局

新年度に向けて、公共交通の利用案内パンフレットを全戸配布しますので、その中で周知したいと思います。また、ケーブルテレビや市のホームページでも周知したいと思います。

会長

定期券の販売価格の変更については、これで承認することよろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

続いて、日曜・祝日便の廃止について、ご質問、ご意見などはございますか。廃止した場合の代替案はありますか？

事務局

議事3で改めて説明しますが、乗合タクシーの土日祝日ダイヤに加賀温泉駅15時発便の新設を考えているので、こちらを利用いただければと思います

委員

日曜・祝日便の廃止となると観光客への影響が懸念されますが、いかがでしょうか？

事務局

キャンバスには、観光客を対象とした海まわり線、山まわり線、小松空港線と地域住民を対象とした動橋・橋立循環線があります。日曜・祝日便の廃止は、動橋・橋立循環線のみなので、観光客への影響はないと考えています。

会長

日曜・祝日便の廃止については、これで承認することよろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

続いて、湖北地区への乗り入れについてです。湖北地区へ乗り入れをした場合、観光客と地域住民の利用の比率はどれ位になると想定していますか？

委員

動橋・橋立循環線への観光客の乗車はありません。高校生利用が中心です。

会長

続いて、地域停留所の一部廃止についてです。山まわり線の観光客と地域住民の利用の比率はどれ位ですか？

委員

観光客が圧倒的に多いです。

会長

廃止した場合、観光客への影響はありますか？

委員

若干ありますので、地域停留所として廃止した場合も、まちづくり加賀の停留所として残したいと思います。

会長

事務局との調整はできていますか？

事務局

山まわり線は観光客利用が中心で、地域停留所の利用は非常に少ないです。市民の移動は乗合タクシーで保障されているので、地域停留所としての機能は廃止したいと思います。「箱宮」停留所については、観光客向けの「加賀ゆめのゆ」停留所が併設されており、こちらは存続しますので、観光客への影響はほとんどないと考えています。

会長

地域停留所の一部廃止については、これで承認することによろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

続いて、逆まわり線の運行についてです。これは観光客を対象にしたものですか？

委員

はい。

委員

加賀温泉バスとの協議は済んでいるということによろしいですか？

委員

はい。

会長

以前から逆まわり線を運行したいという話は、この会議で聞いていました。新幹線延伸への対応もありますので、承認ということによろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

続いて、乗車券の割引区分の追加についてです。ご質問、ご意見などはございますか。特に異議はないようですので承認することとします。

それでは、「キャンバスの運行内容の見直し（案）」については、全て承認とします。

委員

確認ですが、キャンバスの定期券の有効期限は購入日から1ヶ月としています。3月に発行した分については、3,000円によろしいですか？

事務局

現在のところは、今年度発行のものは3,000円、新年度発行のものは4,000円としたいと考えています。

【議事(3) 加賀市乗合タクシーの運行内容の見直し(案)について】

会長

続きまして、議事の3番目、「加賀市乗合タクシーの運行内容の見直し(案)について」です。それでは事務局から説明してください。

事務局

資料は8ページです。

まず、共通エリアの拡大についてです。現在、共通エリアは加賀温泉駅周辺とイオンに設定していますが、国道8号の4車線化に伴い、大型商業施設が国道8号沿線に進出しています。エリアを跨いだ移動には、加賀温泉駅での乗り継ぎが必要となり、利用者からは時間的問題があると聞いています。これを受けて、実証的に共通エリアを広げ、どのエリアからでも国道8号沿線の一部の施設や店舗に行けるようにしたいと思います。

続いて、各町停留地点の増設についてです。来年度より4箇所の増設を考えています。

続いて、加賀温泉駅9:00発便の運行日の拡大についてです。この便は、エリアにより火・木曜日運行と月・水・金曜日に分かれています。分かりにくいとの意見がありますので、混乱を防ぐため、全てのエリアで月～金曜日運行にしたいと思います。

続いて、土・日・祝日の加賀温泉駅発便の増設についてです。土・日・祝日は加賀温泉駅13:45発の便が最終ですが、買い物等から帰るには早いとの意見があります。また、先ほどのキャンパス動橋・橋立循環線の日曜・祝日便の廃止との兼ね合いもありますので、加賀温泉駅15:00発の便を全てのエリアに設けたいと思います。

最後に、乗車券の見直しについてです。昨年11月の会議でも協議していただきましたが、乗車券の種類を見直したいと思います。現状、乗車券は1回券、2回券、11回券の3種類ですが、利用者の意見等を踏まえ、2回券、7回券、12回券に見直したいと思います。2回券を1,000円、7回券を1回分お得な3,000円、12回券を2回分お得な5,000円にすることで利用に繋げたいと思います。

会長

1～4項目は利用者の意見を、5項目は前回会議の意見を反映し、案を提示していただきました。委員の皆さまからのご質問、ご意見などはございますか。

委員

共通エリアがかなり広範囲となるようですが、エリア①とエリア②の利用者の意見を受けてかと思えます。市の乗合タクシーに移行した時から、乗継ぎの利便性を良くして欲しいとお願いしてきました。共通エリアを拡大できるのであれば、乗継ぎ時間も改善できると思えます。どのような検討により、共通エリアを拡大することになったのですか？エリア③には大聖寺へ行きたい方が多くいるので、乗継ぎ時間を改善して欲しいと思えます。

事務局

乗継ぎの利便性向上については、課題として認識しています。一方で、乗継ぎが手間であるとの意見も多くあります。大勢が行く施設を共通エリア化する方が、利便性向上に繋がるのではな

いかと考えました。また今回、大聖寺を共通エリアにできないかも検討しました。しかし、第一交通との協議の中で、大聖寺を共通エリアとした場合、定時運行ができなくなり、根本的に運行のあり方を見直さなければならないとの結論に至りました。そのため来年度は、国道8号沿線の一部を共通エリアとして、利用状況を見ながら今後の運行を検討したいと思います。

会長

大聖寺をどのような扱いにするかは、次の段階で検討したいとのことでした。

委員

乗車券の見直しについてですが、1回のみ利用の方がいるのであれば、1回券は残して欲しいと思います。離島への船でも片道券はあります。必ず往復で買わなければならないとしてしまうと、旅客の利便が損なわれてしまうかもしれません。

委員

片道はバス利用という方もいると思うので、1回券は残した方が良いでしょう。

事務局

今ほどの意見を参考にさせていただき、1回券は継続する方向で進めたいと思います。

会長

1回券は継続されるとのことでした。

それでは、「加賀市乗合タクシーの運行内容の見直し（案）について」は、これで承認することよろしいですか。特に異議はないようですので承認することとします。

現在、勅使・東谷口乗合タクシーの記念誌を作成しているそうですが、その状況を報告いただければと思います。

委員

勅使・東谷口地区ではなく、勅使地区のみで作成しています。路線バス廃止や地区での乗合タクシーの運行、そして市の乗合タクシーへの移行について、後の区長会に残したいと思い、4人程の委員で、3、4月の完成を目標に作成しています。各年度の勅使地区の区長会長が乗合タクシー運行協議会長も担っていたので、その方々からの原稿も預かっています。次回の会議までには完成できればと思います。

会長

皆さまの思いで発展して来たものなので、歴史に残して欲しいと思います。

その他に案件はありますか。

事務局

大聖寺警察署からの委員より交通事故防止について、皆さまへ報告があると伺っていますので、お願いします。

委員

(交通安全と運転免許証の自主返納の状況についての報告があった。)

会長

その他に案件はありますか。

委員

今回の大雪中の加賀温泉バス、キャンバス、乗合タクシーの運行状況を教えてください。特に、温泉山中線は幹線ですので、大雪の中でも、まずはこの路線が運行できるよう市にも協力して欲しいと思います。

事務局

加賀温泉バスは、全便運休が2日間、また運行時も、除雪した雪が交差点に積まれていたため、大型バスや中型バスが右左折できなかつたと聞いています。乗合タクシーは、3,4日間程ジャンボタクシーを車庫から出せなかつたため、セダンで対応したと聞いています。

委員

キャンバスは、1月は11～14日の4日間、2月は6～11日、13～15日の9日間運休しました。国道は渋滞しており身動きがとれず、県道はすれ違いがでなかつたため運休しました。また、一部の停留所には運休のお知らせを掲示しました。

会長

県内の他の自治体はどのような状況でしたか？

委員

こちらにも情報は入って来ませんでした。テレビのテロップも一部運休となっており、運行している便が分からない状況でしたので、利用者への案内の仕方を考えさせられました。

会長

今回の経験を今後の対策に繋げて欲しいと思います。熊本県での震災の際は、LINEが有効だったと聞いています。

その他、ご質問、ご意見などはございますか。

では、事務局に進行を戻します。

5 閉会

事務局

長時間に渡り、ご審議ありがとうございました。本日の会議はこれをもって終了します。